

IUMS 分科会（第 2 1 期・第 2 回）議事要旨

日 時：平成 2 1 年 3 月 2 4 日（木） 1 5 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

場 所：日本学術会議 5 階 5-A（2）会議室

出席者：春日文子副委員長、河岡義裕委員、篠田純男委員、富田房男委員、永井美之委員、
野本明男委員長、平山壽哉幹事、三上襄委員、八木澤守正委員、小川保彦事務官
欠席者：今中忠行委員、堀井俊宏委員、光山正雄委員、渡辺信委員

議事内容

1. 前回分科会の議事要旨の承認について

資料 1 の原案通りに承認された。

2. IUMS 運営に関わる諸問題

・先に決めた各学会の IUMS への参加形態の確認

「日本細菌学会・日本ウイルス学会からの参加者に対する参加費をディスカウントした場合の試算」に関する資料 2 をもとに、おおよその参加者数と参加費収入について議論された。

また八木澤委員から、感染症学会からは 1 日だけ参加できるような参加形態が可能であるかの申し出があったことが伝えられ、検討することになった。

冠シンポジウムの企画立案については今後更に検討することとなった。

連盟に加盟する学会で、学会期間中の前半、後半の両方に関係する学会の発表、部屋割りについては、今後プログラム委員会で関連学会と交渉しながら決めていくことになった。

・シンポジストへの支援金

上記の予想参加者数と参加費収入などから各ディビジョンへの配分案比率として **Bacteriology + Applied Microbiology (BA) : Mycology (M) : Virology (V) = 3:1:3** とした B 案を基本に、提案された金額の 8 割を各ディビジョン配分額（BA: 650 万円、M: 220 万円、V: 650 万円）とし、各ディビジョンが 1) 招待者旅費・宿泊費、2) 若手研究者支援、3) 国内委員旅費・宿泊費にそれぞれ独自に決めて充当することが承認された。

・途上国への支援金

今回は議論されなかった。

・日本でのプログラム委員会（国際委員会、Vice-chairs of divisions）

国際委員会を 8 月 1 1 日～ 2 9 日の間の 1 日を決め、国内プログラム委員長を加えて開催することが決まった。

・ IUMS 理事の日本訪問の受け入れ

富田委員から IUMS 理事の札幌訪問（9 月 1 4 日～ 1 8 日）の際に学術講演会を開催することが発議され、承認された。尚、IUMS 理事の札幌訪問時には、知事、市長への表敬訪問を企画することも承認された。

・借入金を含む資金計画

富田委員から札幌市および各学会からの活動資金支援についての説明があった。加えて、

日本微生物学連盟に加盟している学会の理事長に National Advisory Board に加わることの依頼状況にも説明があった。

3. その他

- ・ 富田委員から International Advisory Board メンバーの日本側から候補者を決めるに際しての提案があり、各ディビジョンに相談して決めることが承認された。
- ・ 河岡委員から International Advisory Board メンバーへのアンケートなどの事務作業を今後コングレに依頼することについての提案がなされ、承認された。

以上